

問い合わせ先  
海洋情報部監理課  
監理課長 増田 貴仁  
TEL099-250-9800(内線 2510)



平成26年8月28日  
第十管区海上保安本部

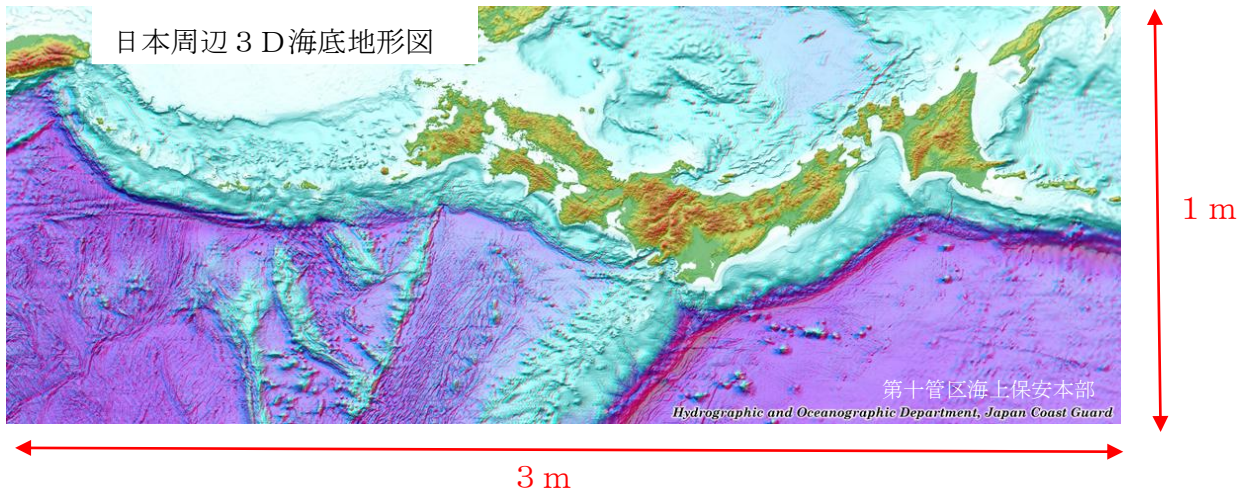
## 日本周辺3D海底地形図の防災教育への活用！

第十管区海上保安本部は、第143回水路記念日\*に併せ、当庁の海洋調査成果を基に作成した「日本周辺3D海底地形図」を、防災や海洋教育へ活用してもらうため鹿児島県教育庁に贈呈します。

海上保安庁では、海洋権益の保全や船舶航行の安全を目的として、海底の地形調査を長きに渡り実施しています。

広大な海に囲まれた日本周辺の海底は、富士山よりもはるかに高い山や深さ9,000m以上の谷、海底の川など変化に富み、非常にダイナミックですが、あまり一般には知られていません。

そこで、9月12日の水路記念日（143年）に併せて、同図を鹿児島県内の教育施設に展示していただき、県内の子供たちに地震活動や火山の多い日本周辺の海底について関心を高めてもらい、防災や海洋教育に活用してもらうよう鹿児島県教育庁に贈呈します。



### 1. 贈呈の日時及び場所

日時：平成26年9月8日（月）14時

場所：鹿児島県庁 教育長室（県庁16階）  
（鹿児島市鴨池新町10-1）

※ 贈呈式の取材を希望される社は、9月5日（金）午後3時までに、海洋情報部監理課までご連絡をお願いします。

## 2. 配布展示先

鹿児島県立南薩少年自然の家  
鹿児島県立霧島自然ふれあいセンター  
鹿児島県立青少年研修センター  
鹿児島県立博物館  
鹿児島県立図書館  
鹿児島県立奄美少年自然の家  
鹿児島県立奄美図書館

### ※ 水路記念日について

明治4年（1871年）7月28日（旧暦）兵部省海軍部に水路局（後の水路部）が置かれ、ここに、当時わが国で緊急課題であった、船の安全を図るための海図を作成する組織が発足しました。

昭和26年の水路部創立80周年記念事業を期に、毎年7月28日を水路部の創立の日として制定していましたが、昭和46年の創立100年には太陰暦から太陽暦に換算した9月12日を創立の日とし、以後、この日を水路記念日としています。

当時の実務は、勝海舟らとともに長崎海軍伝習所においてオランダ式の航海・測量術を学んだ津藩出身の柳檜悦（やなぎ ならよし）少佐〔初代水路部長〕を中心として、東京築地の海軍兵学寮（後の兵学校）の一室で現在の水路業務の基礎がスタートし、日本人による近代的な海図作りが精力的に開始されました。